

市長と語ろう！タウンミーティング 第6回 議事録

開催日時 平成23年7月28日（木） 午後7時～8時30分

開催場所 上押辺公民館

参加者 市民 13人

《フリートーク（意見交換）》

1. 一部損壊世帯への助成をして欲しい
2. 岩間第一小学校第一分校に雨どいをつけて欲しい
3. 田畑の放射線量について
4. 涸沼川河川敷の真竹について
5. 富士山運動公園の土留めにブロックや砂利等を援助して欲しい
6. 陥没した道路の補修について
7. 舗装していない道路について
8. 公民館の水漏れについて
9. 合併浄化槽の補助について
10. 元農協の建物について
11. 岩間駅東大通り線を国道355バイパスまでつなげる構想はあるのか
12. 岩間駅東側の交差点について
13. 個別受信機について
14. 災害見舞金について
15. 転作助成金がさがっているのか
16. 岩間IC付近の排水整備と、岩間駅周辺整備について

《内容》

1. 一部損壊世帯への助成をして欲しい

【意見等1】

東日本大震災の被害一覧に一部損壊は5,871件とあるが、修理に一軒当たり100万円以上かかると思われる。修理費用の何分の1かを助成して欲しい。

【回答1】

現況として笠間市の場合、一部損壊が非常に多いです。茨城県内の市町村別でも多い方に入ります。半壊以上は約130件以上あり、まだ調査をしているところもありますので、最終的にはもう少し増えると思います。市の対応としては、半壊世帯は5万円助成していましたが、被害状況を踏まえて10万円に金額をあげて支給しています。

坂東市が屋根瓦への支援として2、3万円の支給を決めたり、日立市が最高10万円くらいの支給を決めたり、石岡市は1万円の支給を決めたりしました。県内では、いくつかの市町村が屋根瓦の修理への支援を決めています。笠間市でも、災害対策本部で何度も議論をしました。個人の住宅で50万、100万の修繕費がかかる中で、市で数万円支援をしたことで、どれだけ復旧の支援になるのか等いろいろ議論した結果、個人の住宅については、半壊以上の被害住宅に対して10万円を支援金として支給することとしました。そして、公共の施設の復旧を最優先にしようということを決めさせていただきました。個人住宅の屋根等への支援については、現時点では考えておりません。

【意見等2】

金銭的な問題よりも精神的な問題だと思う。1万円2万円の価値ではなく、市もこれだけバックアップしてくれているという精神的な支えになると思ったので、このようなお願いをした。

【回答2】

おっしゃることはわかりますが、今のところ個人の住宅への支援は考えていません。

市が復興の基本として決定したことが4点あります。1つは、インフラを含めた公共施設の復旧を優先すること、2つめは、地域のコミュニティである集会所の復旧支援をすること、3つめは、自主防災組織の結成を進め、整備費用については地元負担ができる限りないように支援すること、4つめは、笠間市のなかでも歴史的、文化的に重要なものについては復興を支援していくということです。自主防災組織の支援のように今後の防災対策に対しては、優先的に予算をつけていくという基本的な考えのもと、復興と今後の対策を進めていくこととしました。

2. 岩間第一小学校第一分校に雨どいをつけて欲しい

【意見等】

岩間第一小学校第一分校では、8月3日から大学の学生たちが岩間地区の子どもたち66名に図工教室を開いている。また、大好きいばらきのボランティアの皆さんや観光協会が支援して、9月に宿泊学習を行うと聞いている。しかし、第一分校には雨どいがなく、出入り口で雨がかかってしまうので、雨どいをつけて欲しい。

【回答】

よく調べて対応します。分校につきましては、岩間町の頃から、武蔵野美術大学の学生さんたちが交流してくださっています。また、9月には日立市の中学生が体験学習を行う予定もありますので、体験学習の場としての機能を高めていければと思っています。

3. 田畑の放射線量について

【意見等】

小中学校で放射線量の測定を行い、広報かさまに掲載しているが、これから収穫時期を迎えるので、田畑の放射線量も測定して欲しい。人件費がかかるというのであれば、器械を借りて測定したいと思っている。測定すれば安心して収穫できるのでお願いしたい。

【回答】

放射性物質の測定については、市内の小中学校、幼稚園、保育所の43箇所で行っています。土壌検査についても、40箇所以上で検査を行いました。今後、検査をして欲しいという意見もいただいています。市には測定する器械が10台ありますが、貸し出すのではなく、必要があれば市の職員が現地に行って測定していこうと考えています。

これから米の収穫の時期になりますので、何らかの方法で、収穫前に米の検査を行おうと思っています。どこの地域でどれだけということは、まだ決定していませんが、笠間市内全地区から抽出して行うことになると思います。

4. 涸沼川河川敷の真竹について

【意見等】

涸沼川は県の管理だが堤防ができて約50年。堤防ができてから40年以上は氾濫がなかったが、その後大氾濫があった。それは、河川敷に生えた真竹が原因ではないかということで、議員さんをお願いし、県に竹の整理をしてもらった。当初3年間は県で整備するはずが、予算がないということで2年後に地元でやってくれということになってしまった。とても広い範囲なので、地元のかかなりの負担になっている。市で何かよい案はないか。

【回答】

地元の方からすれば、県の管理であっても、市の管理であっても、草が伸びれば、何らかの対応をしてもらいたいと思うのは当然だと思います。行政では、県と市で役割分担をしています。河川改修が進んだり、ゲリラ豪雨があたりして今まで災害のなかったところに急に氾濫が起きるということが増えてきていますが、そういうことを含めて河川の維持管理は問題であると思っています。

河川敷は、地元でできる部分と地元ではできない部分があると思います。道路の草刈り等を地元の方をお願いすることがありますが、地元の方が高齢者世帯ばかりになってしまっていて後は継続できないというような話も聞きます。道路の場合は、里親制度を設けて500メートル以上の

道路を管理していただくときに補助を出しています。それと同じような制度を、河川の維持管理について、導入したとしても、個人ではできない部分は、行政がやらざるを得ないと思います。県の管理の場合は、市としては、県にお願いすることになってしまいます。県に問題提起等をすると同時に、市としても課題として捉えていきたいと思います。地元では、できる範囲でやっていただければと思います。

5. 富士山運動公園の土留めにブロックや砂利等を援助して欲しい

【意見等】

富士山運動公園の管理を老人会で行っているが、雨が降ると土が流れ出してしまうので、土留めにブロックや砂利などの援助をして欲しい。

【回答】

富士山運動公園は行政のものではないので検討して、後で連絡させていただきます。

6. 陥没した道路の補修について

【意見等】

上安居地区の川根山から工業団地の排水が通っている道路が陥没してしまった。災害復旧工事で、道路に碎石が入っている状態だが、いつごろ舗装されるのか。

【回答】

今回の工事発注にはまだ入っておりませんので、次回になると思います。まずは、下水道の工事をしてからになると思いますが、もう一度確認します。

今回の地震では、下水管の通っているところが比較的被害が大きくなっています。下水管の通っている道路の工事は、国の補助の対象になりますので、国の調査を受けてからでないといけません。また、調査も市内すべてを一度に行うわけではなく、何か所にも分けて行っています。調査が終わっても、まずは、下水管の工事を行ってから舗装ということになってしまいますので、時間がかかっているという現状があります。われわれとしては、できるだけ早くと思い進めていますが、手順を踏んでいるとどうしても時間がかかってしまうということをご理解いただきたいと思います。

応急処置の対応はします。

7. 舗装していない道路について

【意見等】

長谷川自動車から上がっていった道路と野口地区からくる道路の一部が舗装されていない。交通量が増えてきて、砂利を入れてもすぐなくなってしまう。

【回答】

その道路の先は、一部買収をしていないところがありまして、まだ工事に入っていません。買収が終わってから、舗装工事をやりたいと思っています。今年、平戸養鶏所付近で一部交差点改良工事を行うので、その時に調査をしたいと思っています。だいた地主さんが代替わりしていますので、よく確認してもう一度交渉してみます。

8. 公民館の水漏れについて

【意見等】

上押辺公民館は、震災のときに水道管がずれたようで、水漏れしている。これは、集会所の基礎の亀裂に該当し、補助金がもらえるのか。

【回答】

担当の市民活動課に話をしご連絡いたします。

9. 合併浄化槽の補助について

【意見等 1】

合併浄化槽の補助は、今でもありますか。

【回答1】

行っています。今年は200基くらいを予定しています。これまでは、先着順だったのですが、今年から、前期と後期で抽選を行っています。それほど、倍率は高くありませんので、だいたい対象になると思います。後期は9月に抽選を行います。

【意見等2】

今あるものが壊れて交換したいが、それも対象になるのか。

【回答2】

付け替えが対象になるかどうかは、調べてご連絡差し上げます。

10. 元農協の建物について

【意見等】

下押辺の元農協は市有地なので、解体して市に返してほしいという要望書を農協に出したが、一向にらちがあかない。市から何か働きかけることはできないのか。

【回答】

地元としては、解体してほしいという要望を農協に出したということですよ。確かに、市の土地ではありますが、まだ、市から返してほしいということは伝えていません。

農協と話をし、意向を聞きながら対応します。

11. 岩間駅東大通り線を国道355号バイパスまでつなげる構想はあるのか

【意見等】

岩間駅の道路が開発されているが、その道路を国道355号バイパスにつなげるという構想はあるのか。

【回答】

その構想はあります。現在、用地買収を行っていますが、平成27年度までにつなげたいと考えています。国道355号と岩間駅を直結する道路なので必要な道路であると思っています。

12. 岩間駅東側の交差点について

【意見等】

岩間駅東大通り線と細い道路の交差点で、細い従来の道路を通る車が、今までの習慣からか一時停止せずに進んでいく車があり事故が心配である。

【回答】

開通式のときも、今までの習慣なのでしょうが、ノンストップで通っていく車を見ました。市としては、停止線の設置を警察にお願いしました。今後、全線開通しますと、交通量が多くなって危険ですので、そういったところには停止線の設置をお願いしていきます。

13. 戸別受信機について

【意見等】

震災時、戸別受信機は非常に聞き取りやすかったが、外の防災無線は聞き取りにくい。使用方法をわけてはどうか。

【回答】

旧岩間地区は、戸別受信機を使っているいろいろな行政情報を流していたと思います。しかし、合併して使用方法を統一するというので、必要最小限の行政情報を流すことにしました。それに対して、いろいろな情報を流した方がよいというご意見もあります。岩間地区は、戸別受信機が中心ですが、笠間、友部地区は、外に設置しているスピーカーが中心という違いがありますので、今回の震災においても、情報を一人でも多くの人に伝えることが課題となっております。一つの手段だけでなく、複数の手段で伝達していけないか検討しているところです。早めに結論を出して対応していきたいと思います。

1 4. 災害見舞金について

【意見等】

石岡市では一部損壊であっても、り災証明書があれば各家庭に1万円ずつ見舞金を出すということを聞いた。小美玉市は見積書を持っていけば、最高で2万円まで市で支援するという。笠間市では、そういうものはないのか。

【回答】

笠間市では、戸別への支援は、半壊以上の損害の場合に絞り込ませていただきました。一部損壊の数は多いのですが、公共施設の復旧や自主防災組織への支援等をメインにさせていただき、個人の支援については半壊以上ということで進めています。

それぞれの市町村がどれだけの被害なのか、把握しておりませんが、一部損壊は、日立市や常陸太田市が多くなっているようです。

1 5. 転作助成金が下がっているのか

【意見等】

転作の助成金が下がっていると聞いたがどうなのか。

【回答】

国で補助が廃止となった後も、まったくなくしてしまうと影響が大きいということで、市独自で転作助成金という補助金を5000万円残しています。品目によっては、市が補助率を下げているのではなく、国の補助自体が下がっているものは確かにあります。小麦はいくらか下がっています。

国や県の制度というのはいろいろありますが、国などは一定期間の補助期間でやめてしまうことがあります。国の制度が廃止となったから、すぐに廃止とするのは住民に影響が大きいので、身近な市町村は国のように廃止することが難しいのです。

1 6. 岩間IC付近の排水整備と、岩間駅周辺整備について

【意見等】

岩間インターチェンジ近くは、茨城空港に道路がつながればさらに立地条件が良くなるので、排水の整備がきちんとされれば、企業も進出したいと思っているはずだ。その上、土地利用の規制がかかっているの、なんとかならないか。

また、岩間駅の前は、一般の人が待つ場がない。きちんと整備した方がよいと思う。

【回答】

ご意見として伺っておきます。